（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	こどもくらぶキジムナー

公表日　R７年４月28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			適切なスペースで活動に合わせて、室内での活動を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7			適切に配置の中で業務分担ができて業務完書に努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			日頃から、職員の業務の際は安全面で手すりを掴んで出来るよう声かけを行い対応しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			安全衛生面、環境整備に意識しています。また、活動に合わせて室内外での活動をと楽しんおります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			必要に応じて、個別の部屋を使用できる環境を整えております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			業務開始前、終了時にミーティングを行っています。定期的に支援会議を設けています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けてあり、その内容を業務改善につなげているか。	7			保護者向け評価表より、保護者様の声の意向を把握する機会を設け、その内容を業務改善に繋げております
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			定期的に職員会議を設けております。また、その内容業務改善に繋げています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			第三者による外部評価を行い、評価を業務改善に繋げています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			定期的に研修の機会を設けています。また、法人内での研修を開催する機会があります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			適切に配置の中で業務分担ができて業務改善に努力しています。支援プログラムを作成し公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			業務開始前、終了時にミーティングを行っています。定期的に支援会議を設けています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			引き渡より、保護者様及び関係機関などから情報を収集し計画を作成しています。また、台頭やこどもの声の支援の振り返りを行っております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿って支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により職場している。	7			研修での講師より助言や、専門誌など情報を収集し計画を作成しています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			自己自立をとおし、個々のペースに合わせて丁寧に療育に取り組んでいます。「地域支援」近隣の商店や、公園活動など積極的に取り組んでいます。保護者様からの悩みなど、個別や家族での面談を行っております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			チームでプログラムの立案を行っております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			専門講師によるプログラムや、固定化されないように職員が交代制で活動プログラムを立案しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			小集団活動を主とし、個別での課題に丁寧に取り組んでいます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			支援開始前には、職員で必ず打ち合わせをし、支援内容の役割分担をおこなっています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			支援終了後には、必ず職員間でその日行った支援内容の振り返りを行い気づきや改善などと共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			日々の支援に関して記録を徹底し記録の内容も次の支援に繋げられるよう実行しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			定期支なモニタリングを行い、支援計画の見直しを行いPDCAサイクルステップで課題に取り組んでいます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			集団活動を主とし、自立支援、創作活動、地域交流、余暇の提供、充実を図っております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			子どもの自己選択が出来るような支援を行っており、自己決定をする力を育みます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			職員の意見をまとめて、相談支援事業所のサービスを担当者会議に参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			保育園や、こども園、支援学校との連携して支援行う体制を整えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			学校、保護者様との情報共有し、送迎時や、行事予定などと連絡調整を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			保育園、こども園と、その日の様子を共有したり会議において、支援内容の情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		7	職員の向上を図る観点から、福祉サービスの見学会を行いました。	卒業生など、対象児童がいないが、職員の向上を目的に、福祉サービス事業所の見学を行い、保護者様への情報を共有していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	7			今後、地域の児童発達支援センターとの連携を図り助言や、研修を受ける機会を設けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	地域の交流の機会の企画・情報収集を行う。	児童館の利用はあるが、地域の他の子どもと活動する機会がないため、今後地域の放課後児童クラブや児童館との交流の機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			協議会（やえまーる）へ積極的に参加しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			日頃から、利用者様の状況など、送迎時やグループLINE等で伝えるようにしています。定期的なモニタリング課題のやり取りやPCレ確認行っております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			対応の向上を図る観点から保護者様に対して個別事例や、相談窓口等の職員より助言など行っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			サービス利用する前に丁寧に説明させて頂き、不明な点に関してもその都度確認に対応する25点がついています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			保護者様からのアセスメントを元に発達段階に合わせて、支援計画を作成し、ご家族の意向を確認する機会を設けています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画への同意を得ているか 。	7			保護者様からのアセスメントを元に発達段階に合わせて、支援計画を作成し保護者様へ、支援内容の説明を行っております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			定期的なモニタリング、保護者様からの悩み事等、電話や事業所にて随いて一緒に振り返るどの対応を考えております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7			昨年は、親子レクを開催しました。今回はゆんたく会を予定しております。また、父母会の活動を支援するなど保護者間での繋がりを大切にしていきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			こどもや保護者様からの、苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に敏速かつ適切に対応の体制を構築しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			ホームページやSNSを発信しています。また、利用予定表を通して活動や行事予定の情報を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			全職員個人情報の取扱いに周知しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との概念の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			その子の特性を理解して接するよう努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			今後、機会があれば事業所の行事に地域住民招待する等、地域に開かれた事業運営を図っていきます。
非常時等の対応	46	虐待防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		7	年間行事で、防災の訓練を予定している。他、防犯など発生を想定した訓練も実施していく。	マニュアルを職員間で周知しております。発生を想定した訓練をそれぞれ実施できるようにしていきたい。また、ご家族への取り組みを発信していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			火災訓練などに取り組んでいます。今後も継続して取り組んでいます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			利用開始前に保護者様へ確認しこまめに情報共有を図っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			食物アレルギー対象の児童には保護者様へ確認しこまめに情報共有を図っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			定期的な訓練を実施しており、今後も継続していいきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7			こどもの安全を確保に関して、定期的な訓練を実施しております。予定表やライン等で周知しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	7			ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について職員間で共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		7		行動児童がいないが、やむを得ず身体拘束について、組織的に決定し、保護者様へ事前に十分説明し了解を得た上で行動児童支援計画に記載していく。